

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和3年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	前年度は新型コロナウイルス感染症の渦中にあり、知恵と工夫を試された1年間であったが、生徒指導の3機能（自己存在感・共感的な人間関係・自己決定）をふまえて、全職員一丸となって学校教育目標の実現に向けて取り組むことができた。足を固めたことによって、地域との連携もさらに深まり、教育活動のPDCAという教職員の意識も高まった。学校関係者からも好意的な評価をいただいている。取組内容や具体的取組は効果を上げているので今年度も継続し、成果指標（数値目標）の設定については100%は高すぎるのではないかととの学校関係者の意見を受けて再考することになった。
2 学校教育目標	地域に根つき、笑顔と感動があふれる厳木中学校～主体的、協働的に取り組む生徒の育成～
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が主体的に学ぶ魅力ある授業を展開し、学習意欲を高める。</li> <li>・生徒に活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。</li> <li>・「立腰教育」を柱として生活規律を確立し、自己指導力と規範意識を高める。</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価
---------------	------	--------

(1) 共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践 ○基礎・基本的な学習内容の定着を目指した取組	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師70%以上 ○家庭学習の時間が一日1時間以上の生徒が60%以上	・教職員間でマイプランを共有するとともに、校内研修等により取組の促進を図る。 ・各教科による単元テストの実施することにより、家庭学習に取り組む時間を増やし、基礎・基本的な学習内容を定着させる。(OJL×S、OJL×M、OJL×A、定期テストと関連付ける。) ・生徒会本部と学芸部による家庭学習の充実を目指した取組。(生徒総会、生徒集会等)	・	・	・	・	・	・	・
	○校内研究及び校内研修の充実	○12月調査の「知識・技能」及び「思考・判断・表現」に関する問題の正答率が前年度より向上する全校生徒の割合が60%以上。								
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○道徳に関するアンケートにおける肯定的な回答をした生徒80%以上	・道徳に関するアンケートの実施 ・道徳科の授業力向上のための資料提供 ・保護者と連携したふれあい道徳の実施 ・学級通信等による道徳科の授業の紹介	・	・	・	・	・	・	・
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	●職員に相談しやすいと感じる生徒率80%以上。								
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●朝食喫食率90% ●「健康に食事は大切である」と考える生徒90%	・保健だより、給食だよりやアンケートを通して朝食を食べることの意義の理解と啓発を行う。 ・栄養教諭と連携し、実践的な指導や調理実習等を行う。	・	・	・	・	・	・	・
	○健康意識の向上と体力づくり	○自分の体が健康だと考える生徒が80%以上								
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在職等時間の上限を遵守する。	・定時退勤日の設定 ・学校閉庁日の設定 ・部活動休養日の設定	・	・	・	・	・	・	・

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目									
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○特別支援に関する専門性が向上した教員80パーセント以上	・特別支援に関する研修会 ・個別の支援計画の記入についての研修会 ・特別支援学級在籍生徒の進路保障についての研修会  ・総合的な学習を中心に、全ての教科やふるさと探訪や職場体験、地元企業訪問等の郷土学習を通して郷土を愛し将来の目標に向かって自ら考える時間を確保する。 ・生徒集会、生徒総会、新入生対面式等の行事で活躍する場をたくさん設ける。  ・1年魚のさばき方教室の実施 ・2年煮魚教室の実施 ・3年食育に係る料理教室の実施 ・全学年朝の読み語り	・	・	・	・	・	・
○進路指導の充実	◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学校3年生)75%以上							
○生徒会活動の活性化	○生徒に活躍の場を持たせ承認する場面を増やし、自己肯定感を高める。	○自己肯定感が向上した生徒70%以上							
○地域連携	○いきいき学ぶからつ子育て事業による教育活動	○生徒満足度について肯定的な回答(「楽しかった」「役に立つ」)をした生徒80%以上							

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育

5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・
--------------------	-------------